木更津市土地開発公社経営健全化計画に基づく取組状況 (令和6年度)

○法人名

木更津市土地開発公社（以下「公社」という。）

○経営健全化計画を策定した理由

平成29年4月末時点の簿価総額は約26億円にまで縮減し、公社経営健全化団体の指定要件（債務保証等対象土地の簿価総額が市の標準財政規模の0.1以上）を下回る数値を達成したところですが、さらなる簿価総額の縮減に向け、公社経営健全化計画（第5次）を策定し、計画に基づき取組を進めたことにより、令和4年度末時点の簿価総額は約15億円となりました。引き続き、公社保有土地の計画的な買戻しを行うなど公社の経営健全化に取り組むため、令和5年度から5年間の公社経営健全化計画（第6次）を策定しました。

○財政的リスクの状況

	令和5年度 決算	目標達成年度 (令和9年度)
債務保証の対象となっている公社保有の土地の簿価総額（保有期間5年以上）【A】	1,121,412千円	320,000千円
標準財政規模【B】	28,635,489千円	—
【A】／【B】	3.92%	—

○主な取組状況

- ・公社健全化計画（第6次）に基づき、令和5年度から令和9年度までを計画期間として公社の保有する土地の段階的な低減を図ります。令和5年度は2件、199,400,000円分の土地の買戻しを行い、簿価を縮減しました。
- ・公社の借入金に係る利子補給（補助）を継続し、令和5年度は2,902,045円の利子補給を行い、公社保有土地の簿価上昇の抑制を図りました。

○会社の財務状況

(貸借対照表から)

	令和5年度決算
資産合計(A)	1,351,757 千円
(うち現金及び預金)	19,996 千円
(うち未収金)	0 千円
(うち公有用地)	1,323,478 千円
(うち完成土地等)	3,233 千円
(うち投資その他の資産)	5,050 千円
負債合計(B)	588,650 千円
(うち未払金)	12 千円
(うち長期借入金)	588,638 千円
資本合計(C = A - B)	763,107 千円

(損益計算書から)

	令和5年度決算
事業収益(A)	200,003 千円
事業原価(B)	199,400 千円
販売費及び一般管理費(C)	385 千円
事業利益(D = A - B - C)	218 千円
事業外収益(E)	2,904 千円
事業外費用(F)	2,902 千円
事業外利益(G = E - F)	2 千円
当期純利益(D + G)	220 千円